

公表

令和7年度 事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		プロッサムジュニア 市川大野教室					公表日		令和8年3月16日	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はい	どちらとも いえない/ わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
							5			
環境・体制整備	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員配置数は適切であるか。	5							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			・入口から、一つの廊下から各部屋やトイレに行けるようになっている ・各部屋のドアには、イラスト等も使い、分かりやすく表示している				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	5			季節感のある飾りつけ				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			個室を複数準備している				
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			日々の支援会議や月単位の予定決めを行っている。				
業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・日々のミーティングにて情報の共有を行っている ・年2回の懇談				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・日々のミーティングにて情報の共有を行っている ・決めつけず、チャレンジできるようにしている				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		情報共有し、解決方法を考えられた				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1			法定研修など、最低限に留まっているため、今後は、さらなる充実が必要			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5							
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			連携し、子どもの状態について、情報確認、情報共有を行っている				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			連携し、子どもの状態について、情報確認、情報共有を行っている				
	14	児童発達支援計画が職員間共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			連携し、子どもの状態について、情報確認、情報共有を行っている				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	1		以前は行っていたが、時間がかかり、やらなくなってしまった			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらわら及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・日々のミーティングに時間をかけている。 ・季節の行事を取り入れながら、プログラムを立てている				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			・日々のミーティングに時間をかけている。 ・毎月、活動予定を決め活動している				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			個々のレベルに合わせた設定				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			・日々、ミーティングを行っている。 ・可視化している、変更もそこで確認できるようにしている				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			・日々、ミーティングを行っている。 ・毎日の振り返り				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・システムに記録し、全職員が共有することができる。 ・毎日の振り返り				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5							
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		1	保育園を訪問し、支援計画の共有をしている	関係機関との会議の参加は、一部の職員に限られているため、今後改善が必要。			
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		保育園との情報共有	保健・医療の連携は、相手側の都合もあり、難しい部分がある。			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5							
	27	就学時の移行の際は、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		スマイルプランの作成	保護者様を通じての共有が多く、直接、学校と話す機会がない。			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受けられる機会を設けているか。	2	1	2					
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			5	公園や児童ホームでの活動				
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5			サービス提供記録(HUG)で、良い事・悪い事、両方伝えている				
保護者への説明等	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1		4	出来なかった事は、今後の方向性も含め、伝えている	今後、保護者様の希望に応じ、対応していきたい。			
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5							
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			・アセスメント、面談を通じ、保護者様の意向をくみ取り、計画に反映。				
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5							
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			年2回の面談と送迎時				
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			5	お迎え時、交流できる場面の際				
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5							
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		1	HPやSNSではなく、来週の前日HUGでお知らせしている				
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5							
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			見えるか等。				
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1		4	招待はないが、児童園等で行事がある場合には、参加できるときには、参加している				
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			訓練記録等の報告で、待機場所について伝えている				
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			年毎予定定期的に行っている				
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	5			面談での確認(年2回)				
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1						
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5							
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5							
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5							
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			感情的にならない、2人の空間を作らない等、話している				
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		1					